

湧く湧く

青年は町の原動力 自らを磨き高めよう ～青年教育推進目標～

20歳の誓いを胸に ～令和5年「20歳の集い」～



1月8日に令和5年「20歳の集い」が文化センターさざ波で開催され、20歳の参加者62名が出席し、たくさんの保護者や来賓が見守るなか、大人としての第一歩を踏み出しました。

華やかな晴れ着や真新しいスーツに身を包んだ参加者一人一人から、入場時に20歳としての抱負や近況を述べていただき、式典では刈田町長の式辞や村田町議会議長からのお祝いの言葉が贈られました。

また、20歳代表として鈴木健大さんより「20歳の誓い」を宣誓。高橋享吾さんから「20歳の主張」として、決意や目標を発表し、最後に戸松悠月さんからお礼の言葉を述べていただき素晴らしい式典となりました。

式典終了後には、交流会として「ゆうべつ盛り上げ隊（代表高橋享吾さん）」によるアトラクション（懐かしクイズ大会）を実施。大いに盛り上がりを見せた交流会となりました。



【各20歳の代表挨拶の様子】

20歳の誓い
【鈴木 健大さん】20歳の主張
【高橋 享吾さん】お礼の言葉
【戸松 悠月さん】

芸術・文化は未来を生きるヒント ～創造力と豊かな心を育てよう～

シンガーソングライター半崎美子さんのコンサートを2日間開催しました!

1月26日、27日文化センターさざ波でシンガーソングライター半崎美子さんのコンサートを行いました。

26日は、町内中学校・高校の生徒を対象とした芸術鑑賞事業「半崎美子スペシャルコンサート」を行いました。半崎さんは北海道出身で道内の大学在学中に音楽に目覚め大学を中退し、歌手を目指し上京。17年間の下積みを経て2017年にメジャーデビューしました。コンサートでは「お弁当箱のうた～あなたへのお手紙～」や「母へ」などの家族へあてた歌が披露され、涙する生徒も多くいました。



中高生芸術鑑賞



ぱすてる訪問

生徒から「将来の夢」への悩みや夢の叶え方について半崎さんへ質問するコーナーでは、半崎さんが自身の経験をもとにアドバイスとエールを送り、生徒たちは真剣な表情で聞き入っていました。

1時間半のコンサートを鑑賞した生徒たちからは「家族への感謝の気持ちが強くなりました」「進路や夢のことなどとても参考になりました」と、とても心に残るコンサートとなりました。

コンサート終了後には放課後児童デイサービスこどもスペースぱすてるを訪問し、児童たちとオセロなどをして交流しました。また、サプライズで歌を披露してくれるなど児童たちにとってもかけがえのない時間となりました。

湧別町テーマソングもできました!

27日は、「半崎美子明日を拓くコンサート2023」が行われ、会場に詰め掛けた約400人の観客は半崎さんの歌声を堪能しました。

昨年5月に開かれたチューリップフェアで歌を披露されたことがきっかけとなり今回のコンサートが実現しました。湧別町を訪れた半崎さんの「この町の曲を作りたい!」という思いと「半崎さんに曲を作ってもらいたい!」という湧別町の思いから、湧別町より楽曲制作を依頼し、完成した「春を受け継ぐチューリップ」をコンサートで披露しました。明るいメロディと希望に満ちた歌詞はたくさんの観客を魅了しました。

なお、今回湧別町のテーマソングを作詞作曲したご縁から、「湧別町チューリップ応援大使」として活動していただくことが決まり、刈田町長から委嘱状が手渡されました。



少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

「氷下釣り」体験を行いました！

1月14日、湧ゆう湧くわく体験塾が「氷下釣り」を行いました。この日参加した塾生は20名。氷に開けた穴から上がるチカに歓声が上がっていました。

初めはしばらく釣れない時間が続いたものの、一人が釣り上げると周りも釣れ始め、穴に垂らした糸の動きを真剣に見つめていました。残念ながら爆釣とはいきませんでした。半分ほどの塾生が魚を釣り上げ、最初に釣った湧別小学校4年生の北谷百合愛さんは「魚がかかった時『ビクビクッ』という感じがあった。びっくりしたけど、釣れてうれしかったです。」と笑顔で話していました。



明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

ウインタースポーツが盛ん! 「氷と雪を楽しむ」

1月10日から13日までの4日間、芭露スケートリンクで「ジュニアスケート教室」が行われ33名が参加しました。初級コースと中級コースと2つのグループに分かれ、スケート経験者の久保拓也さん（芭露）、松本桃子さん（芭露）の指導により、参加した子ども達は上達して教室を終えることができました。



チャレンジスポーツスクール

1月21日には、同会場でチャレンジスポーツスクール「スケート体験と氷上ホッケー」が行われ10名が参加しました。「スケート体験」では、初めてスケートを履いた子ども達が最初は椅子を支えにしながら立つのもやっとでしたが、歩く練習をしながら氷の感触を楽しみながら少しずつ滑れるまでに上達しました。その後、「氷上ホッケー」に挑戦。氷の上で足を取られながらも、ボールの取り合いに熱戦を繰り広げられ、氷と雪を楽しんでいました。

ちよいトレ☆教室! ～No.44～運動指導職員 三浦 茉畝

◎ちよいトレ ■股関節のストレッチ

1. 両ひざを90度に曲げて立てる。
 2. 左ひざを内側に倒し、右の足をひざの上にのせる。
- ※倒している足側のお尻が床から浮かないように！



目安は30秒です。息を細く長く吐きながら行ってください。



スポーツ安全保険に加入しましょう

・令和4年度の保険は令和5年3月31日をもって期限切れになりますので、お早めにご加入ください。

【令和5年度スポーツ安全保険加入手続きのご案内について】

スポーツ安全保険の加入手続きは、令和5年度よりインターネット（スポあんネット）による
手続きに統一されます。教育委員会での取り扱いはありません。

※インターネットによる加入手続きができない場合やお困りの際は下記の
スポーツ安全協会までご連絡ください。

～問合せ先～

公益財団法人スポーツ安全協会

固定電話からは0570-087-109 / 携帯電話からは03-5510-0033

詳しくはこちらから⇒



第10回【家庭教育コーナー】

2月4日は立春、暦の上では春を迎えました。北海道に住む私達にはまだまだ実感がありませんが、そう言われると、ほんの少し日差しの方が強くなったように感じます。これから3月3日の「ひな祭り」に向けて一気に春の気分が高まってきますね。

ところで、このひな祭りではひな人形を飾りますが、これは「流し雛（びな）」の風習がもとになっていると言われていています。流し雛とは、身の穢れ（けがれ）を紙などで作った人形（ひとがた）に移して川に流す清めの行事のこと。わが子の成長を願う親の心がこもった行事でした。また、ひな祭りは「桃の節句」とも言われます。ちょうどこの頃が桃の開花時期と重なることと、桃には邪気を払う霊力があると信じられていたことが関係しているようです。桃太郎はこの霊力で悪い鬼をやっつけたのでしょう。忙しい中でもこのような伝統行事を行うことで家族の絆を深めていけるといいですね。

◇子育てに関する保護者の疑問や悩みに答える家庭教育相談を行っています。下記の連絡先でお待ちしています。また、参加者が気軽に子育てについて交流できる場の開設などを検討中です。関心のある方は下記までお問い合わせください。

【アドレス】 adviser@town.yubetsu.lg.jp

【電話番号】 5-3132（社会教育課）

【アドレス】



「ハレーエッセイ」図書館協議会委員さんのある一日 第147回

今日は、珍しく何も予定が入っていない日曜日。そんな時私は、図書館に行く。図書館に行くと、なんとなく気持ちが落ちつく。日々の余計なことを考えずに本を読むことに没頭できる私の中の大切な時間だ。

最近、年のせいか小さい頃の事を思い出すことが多い。幼い頃私は、いつも祖母と寝ていた。寝る前にいつも昔話の本を読んでくれた。その中でも私の一番のお気に入り、「屁こきよめさん」いつも「ばあちゃん、屁つたれの話して」とリクエストして必ず「ブーッ」の所で弟と大笑いし、楽しく幸せな気持ちで眠りについた。

冬の寒い日は、私の足をばあちゃんの足の間に挟んで温めてくれた。あれから50年経った今も、薪の匂いとばあちゃんの温もりを鮮明に覚えている。私の中の大切なかけがえのない思い出。私もいつか孫ができたなら楽しい絵本を読んであげたいと思う今日この頃でした。

図書館協議会委員 藤井 清美

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

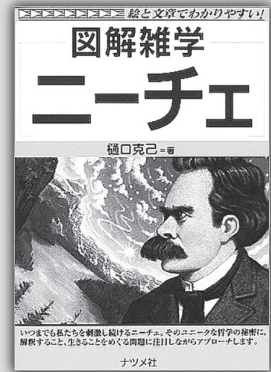
今月の読書・本についての 名言・格言

世界の偉人や有名人たちは、本にまつわるステキな言葉をたくさん残しています。毎月その中から、読書のきっかけになれるように紹介していきます。

今月は、**ニーチェ**（ドイツの哲学者）

「他人の自我にたえず耳を貸さねばならぬことそれこそまさに読書ということなのだ。」

「図解雑学ニーチェ」ナツメ社：刊



絵本の読み聞かせ活動紹介

図書館では、こどもの頃から本に親しむことができる「読み聞かせ」活動を応援しています。ボランティアのみなさんに長年協力していただいています。

【育児学級読み聞かせ】

子育て支援センターからの依頼で「リーディング倶楽部たんぽぽ（代表：小松初恵）」の皆さんが、幼児向けの絵本読み聞かせが昨年12月からスタートしています。

今回は、3月14日11時、湧別子育て支援センターで行います。



【英語でおはなし会】

洋書絵本の読み聞かせと歌やゲームで遊びながら英語に親しむおはなし会が、湧別図書館を会場に、昨年10月から図書館協議会委員長の内野静香さんが実施しています。今回は、3月11日10時30分から湧別図書館で行います。



3月の図書館休館日

3月6日(月曜日)、13日(月曜日)、20日(月曜日)、27日(月曜日)、31日(金曜日)
*図書館の休館日の際の返却は玄関のブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10:00～18:00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150
lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】 2週間

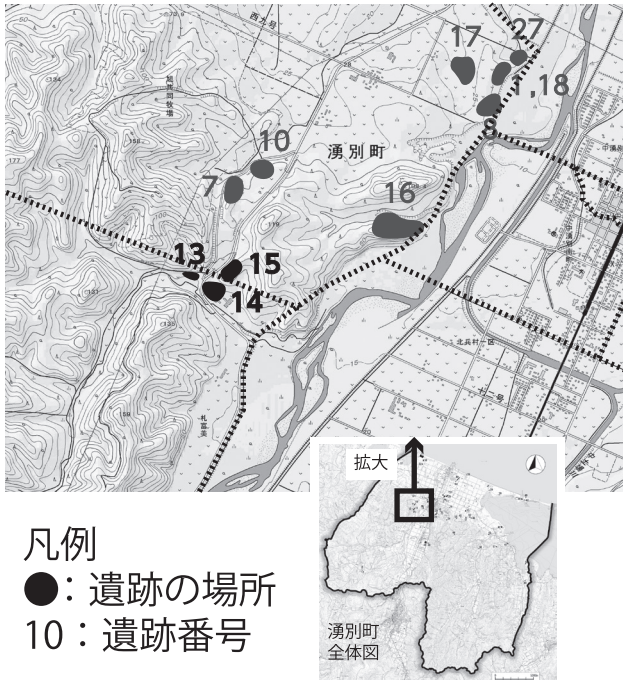
湧別図書館 電話 5-3122
lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化財シリーズ65
一町内の遺跡12ー

身近な場所に遺跡!? 【札 富 美】

博物館だより
一ふるさと館 JRY・郷土館一
【第157号】

遺跡は、みなさんのお住まいや普段利用する道路の近くなど意外と身近なところにあるものです。今回は、湧別町にある57か所の遺跡から札富美にある遺跡をご紹介します。



札富美では3か所で遺跡が確認されています（左図）。年代は、縄文文化や擦文文化の頃です。

これらの遺跡はいずれも、湧別川とそれに注ぐ小川の合流点付近に立地しています。湧別川に近く交通の便が良かったこと、北側の丘陵により北風を防げたことなどから、古代の人にとって好条件の土地だったとされます。札富美3遺跡には擦文文化の竪穴住居跡が数軒あったとの記録もあります（現在は確認できません）。

札富美2遺跡では、令和2年の冬に行なわれた工事に伴い縄文文化の頃のものと考えられる石器が出土しました。札富美は、今後も新たな遺跡が見つかる可能性が高い地域です。確認されしだい博物館だよりでご紹介します。

遺跡番号	遺跡名	主な所在地	年代
13	札富美1遺跡	札富美98他	縄文文化
14	札富美2遺跡	札富美95-1他	縄文文化
15	札富美3遺跡	札富美98他	擦文文化

凡例

●：遺跡の場所
10：遺跡番号

* 遺跡の位置・内容の詳細は、北海道教育委員会ホームページ「北の遺跡案内」でも確認できます。

発掘調査でわかること 炭化木材からわかった遺跡の年代 シブノツナイは11世紀～12世紀の遺跡!?

竪穴番号	試料採取層位	推定される年代
314	床面	11世紀中頃～12世紀中頃
	床面	11世紀前半～12世紀中頃
416	カマド燃烧部	11世紀前半～12世紀前半
422	粘土層（カマド）	11世紀中頃～12世紀中頃
	床面	11世紀中頃～12世紀後半
425	カマド燃烧部	10世紀末頃～12世紀前半

遺跡の年代は、出土した土器の特徴を参考にして推定することが一般的です。しかし、その方法だけでは、文様が施されていない土器や、小さな土器片しか見つからなかった場合は、年代を推定できません。そういう場合に有効なのが「放射性炭素年代測定法」です。これは、物質に含まれる炭素の量を測定して年代を数値で示す方法です。

シブノツナイ竪穴住居跡で見つかった炭化木材を年代測定した結果、昨年度までに発掘した4基の竪穴はいずれも11世紀～12世紀（本州では平安時代の後半）の住居跡であることがわかりました。この年代の竪穴住居跡が集中する遺跡は道内でも大変珍しいため、シブノツナイの大きな特徴になりそうです。

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2023年2月号 No.157

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…北湧印刷（湧別町緑町）発行…令和5年2月24日

記事へのお問い合わせは下記へ

* 社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

* 湧別図書館…電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

* 中湧別図書館…電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

* ふるさと館 JRY…電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200

※湧く湧くで紹介する事業の予定は、今後の社会情勢によっては、中止や延期となる場合もあります。ご了承ください。